



かんせいちゅうがっこう

# 寛政中学校だより

だいごう  
第2号

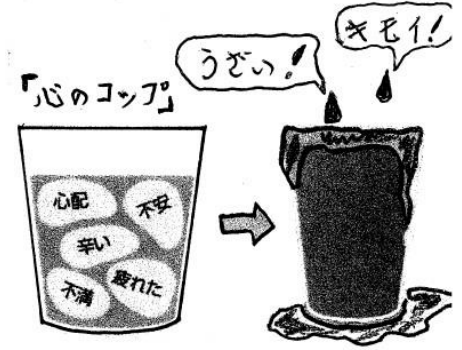
れいわ ねん がつ にち かんせいちゅうがっこう  
令和6年5月20日 寛政中学校

## 相手の気持ちをおしはかれる人に

こうちやう なかむら まきかず  
校長 中村 雅一

生徒の皆さん、今ここに、外からは中身が見えない「コップ」があって、人の心に見立てるとします。「心のコップ」です。

もし、このコップが、人の心を傷つけるような「不快な黒い水」であふれそうになっていて、(ストレスが溜まって限界が近づいている状態)、そこへ、例えば「うざい!」「キモイ!」「死ぬ!」などのたった一言でも、その一滴が加わったとしたら、……。



受け止めきれなくなってコップから水があふれ出てしまいます。(右図→)

自分一人は、たった一滴の水を入れていただけかもしれないけど、周りも同じように一滴ずつ水を入れていったら、コップの水はすぐにあふれ出してしまうでしょう。コップから水があふれた状態は、例えば自ら命を絶つということかもしれないし、精神的に病んでしまったり、学校に行けなくなったりすることも考えられます。

ですから、「これくらい」とか「自分だって言われたし」、「ふざけて言っただけ」、「みんな言っている」、あるいは「友達だから大丈夫」、「笑っていたから大丈夫」、「今までも大丈夫だったから」などなど、自分勝手な理由や思い込みで言った、その一言や行為が「最後の一滴」になるかもしれません。そうなったら、「取り返しのつかないこと」になります。元に戻したくても戻せない、というのが取り返しのつかないことです。どんなに悔やんでも、反省して謝っても、です。

加えて、人の心は簡単にはわかりづらいです。自分の心でさえ、自分自身にもよくわからないことがあるくらいですから。また、人の心は一人ひとり違うし、感じ方も悲しみも怒りも、ストレスのたまり方も、耐える力もみんな一人ひとり違います。だから、人の心は、外からその状態が目に見えない「中身の見えるコップ」なのです。

新年度も一か月が過ぎ、新しい学級にも少しずつ慣れてきたころかと思えます。同時に自分のストレスや、もやもやした気持ちを自分より弱い立場の人に向けて発散しようとする「からかい」や「いじり」が「いじめ」につながっていくのも、慣れてきた今頃です。

「いじめ」は法律でも定められているように、「心理的、物理的な攻撃(インターネット上も含む)を受けたことによって、精神的な苦痛を感じているもの」です。つまり、「つらく、苦しい、耐えがたい思い」をさせる行為、「受けた相手がつらい」と感じる行為が「いじめ」となります。

寛政中の多くのケースでは最初から相手を傷つけてやろうという悪意や、相手を追い込んでいるという自覚がないケースがほとんどです。だからこそ、つらく苦しい、耐えがたい思いをしている人はいないか、自分の言動が相手にそうさせていないかを振り返り、誰もが安心して学校生活を送れるよう、ゴールデンウィーク明けに「いじめ調査アンケート」を行いました。

いじめをつらいと感じる最大の要因は、人権侵害や人格否定にあります。わかりやすく言えば、「人として、仲間として認められていない」という感覚になる、ということです。安心して学校生活を送れなくなるということは、誰もが持っている「安心して安全に、自由に生きる権利」、つまり、「人権」が侵害されるということです。「いじめは人権侵害」といわれるのは、このためです。

そして、いじめは、いじめを受けた人にとって、その受けた傷が消えずに残ります。例えるなら、釘を打たれた木材で、釘を抜いてもそこにできた穴は消えません。人の心は堅い鉄鋼の板のように、誰もなれないのです。

だからこそ、人の気持ちを「想像する」「考える」「思いをめぐらす」「心をおしはかる」力をお互いに身につけていくことが大切なのでしょう。

例えば、「もし、自分が嫌なあだ名で呼ばれたら・・・」「もし、仲間外れにされたら・・・」と、相手の立場に自分を置くこと、また、「その人はどんな思いをするだろう」、「その人はなぜ、そのようなことを言ったり、するのだろうか」と、相手の感じ方や背景を想像することです。想像して話すこと、行動することが「思いやり」や「理解」に繋がります。

いじめに限らず、ストレスや悩みなど、ほとんどは「人間関係」の問題です。なぜ人間関係の悩みが生まれるかという、そもそも人はみな違うからです。人は機械や AI とは違い、それぞれに感情や体験を抱えていて、それが人間らしさを作っています。

それゆえ、クラスや所属するグループなどでは、どうしても自分と合わない人は出てくるものです。しかし、その人を形づくっている体験や価値観など、背景にあるものを知り理解することができると、その相手への見方が変わることがあります。もちろん、知りえないこともあります。その人と話したり、他の人から聞くことで自分が誤解していた、なんてことは結構あるものです。「この人は、こんな体験があったから、こう考えるんだ」と理解できることが出てきます。そして、気の合わなかった人も、たとえ嫌いな人も「気にしない」存在になり、何より自分が嫌な気分から解放されて楽になれます。

そもそも、私たちは相手と自分のモノサシを比べることで、正しさの基準を判断しているところがある訳だから、異なる価値観や考えをすり合わせたり、相手はなぜ自分と違うのかの理解が広がることで、多くの人間関係の問題は解決できるのではないのでしょうか。

生徒の皆さんには、多様性が重視される現代において「お互いの違いや個性を認め合い、自分も人も大切にできる人」であってほしい、と思っています。「心のコップ」の水がたまっていることに気づける、そんな「相手の気持ちをおしはかれる人」でいてください。

## しゅうがくりょこうじぜんがくしゅう 修学旅行事前学習

3学年 水山哲之介

昨年度になりますが、6月の修学旅行に向けて事前学習を行いました。

今回の事前学習では、「当日の活動を面白くするためのミッションを考える」ことをテーマとして、エリア別・テーマ別に調べるスポットを決め、どんなミッションができるのかを考えながら行いました。

出来上がった作品はウェブサイトにもまとめて、自分たちでお互いに観賞したり、コースづくりの参考にしたりして活用しました。また、自分たちが行く近畿地方の学校や、近畿地方に修学旅行に行く学校など、全国のさまざまな学校にもウェブサイトを共有して、「いいね」や「コメント」を頂くこともできました。

下記にQRコードを掲載しておきますので、保護者のみなさまも、ぜひご覧ください。

スポット名	カテゴリ	このスポットのミッションは……
写真 (複数枚可)	トピック1	ミッションの 内容や達成に に向けたヒント などを書く
	トピック2	
	トピック3	

事前学習 フォーマット例



ウェブサイト



サイトQRコード

# しんにゅうせいかんげいかい 新 入 生 歡 迎 会

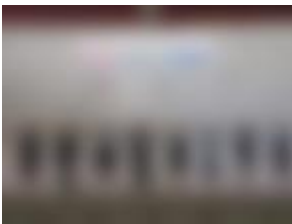
4月10日(水)に新入生歓迎会を行いました。生徒会本部役員による先導で、緊張した表情で入場した1年生を2・3年生が温かい拍手で迎えるところから会が始まりました。

会の中で、学校内でのルールについて、生徒会本部役員がクイズ形式にした劇を行いました。その台本を書いた、本部役員2年生さんに、1年生へのメッセージとどのような思いで取り組んだのかを書いてもらいました。

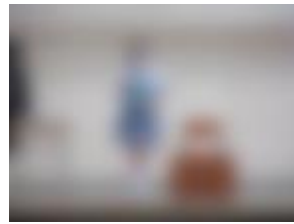
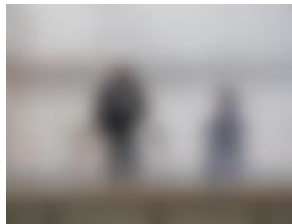
「1年生の皆さん、新入生歓迎会は楽しめましたか。そして、委員会や部活、学校のルールについて知ることができたでしょうか。私は、新入生歓迎会で発表した劇を通して、職員室の入り方、自動販売機の使い方、校内での服装について、私自身も再確認することができました。さらに、劇を作るにあたって、皆さんに楽しんでもらえるか、どうしたらルールがわかりやすく伝わるかなど不安な気持ちもありました。ですが、生徒会本部で話し合い、協力して、無事に終わることができました。なので、みなさんには寛政中学校の一員として、しっかりとルールを守り、楽しく過ごしてもらえると嬉しいです。」

本部役員をはじめ、委員会紹介や部活動紹介で登場した2・3年生たちは、この会で1年生を歓迎する気持ちをどのように表そうかと、趣向を凝らし、準備を進めてきました。その思いをそれぞれが受け取り、考えて行動できれば、さらに過ごしやすい寛政中学校になるのでは、と思います。

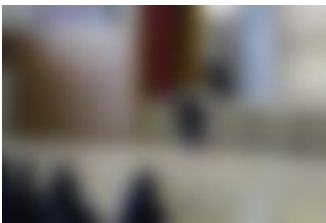
各種委員会の説明



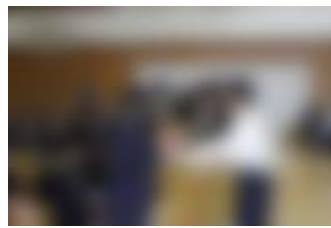
学校生活ルールの劇



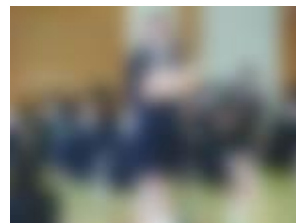
生徒会長の言葉



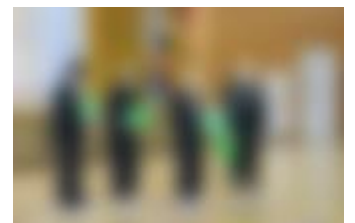
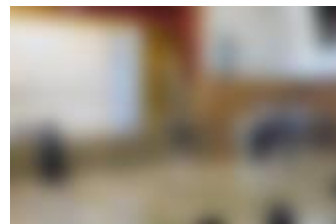
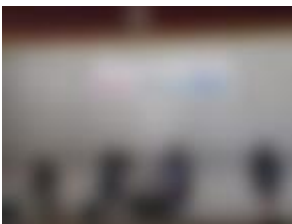
花とメッセージの贈呈



新入生代表の言葉



部活動紹介



# かりにゆうぶ 仮入部

ぶかつどうこもんかい ながしまゆうや  
部活動顧問会 永島優也

4月12日から5月2日の期間で仮入部が行われました。今年度より全入部制ではなくなりましたが、多くの生徒が仮入部に参加していました。どの部活も先輩たちが優しく教えながら一緒に活動している姿が見られました。人数が増え、活動の幅も広がってくると思います。全力で取り組みましょう。

かりにゆうぶきかんちゆう ぶかつどう ようす  
仮入部期間中の部活動の様子



## がつ おも よてい 6月の主な予定

5月20日(月)~6月7日(金) 教育実習

6月6日(木) 生徒総会

6月12日(水)~13日(木) 前期中間テスト

6月24日(月)

区国際平和スピーチコンテスト  
(鶴見区予選会)